

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	スーパー（総務 担当）	単価の動き	・来客数は横ばいであるが、客単価は前年同月比で4.3%上昇している。
		スーパー（仕入 担当）	来客数の動き	・冷凍ギョウザの中毒事件の発生に伴い、それらの製品を扱っていたスーパーの客が当店に少し流れている。ただし、当店の冷凍食品の売上も影響を受けており、中国製品への不信感は雑貨、衣料などにも広がっている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・増販期を迎えていることもあるが、市場には盛り上がりがある。各社が様々な増販キャンペーンを打っているため、客の動きが非常に活発になっている。ただし、その分、値引きなど販売条件も悪化している。
		乗用車販売店 （従業員）	来客数の動き	・時期的に決算も近づいており、新卒者の購入など市場はかなり上昇している。新車を見に来店する客が増加している。
		乗用車販売店 （総務担当）	販売量の動き	・大きく改善しているとは言えないものの、底は脱しつつある。
変わらない		商店街（代表 者）	販売量の動き	・来客数が回復傾向にある。ただし、客単価が低下している。
		商店街（代表 者）	単価の動き	・客単価の低下が続いている。和菓子の店頭売上も、前年同月比96%である。また、レジの金種を見ると、100円玉と10円玉が例年より圧倒的に多い。箱単位ではなくバラ売りが中心になっている証拠である。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・高額商品、特にブランド品を始めとする特選関係は、贈答用、自分用共に動きが悪い。買い控えが続いている。
		コンビニ（エリ ア担当）	それ以外	・売上の前年割れが続いている。無駄な物は買わない傾向が顕著である。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・冷凍ギョウザの中毒事件の影響は、あまり出ていない。
		コンビニ（企画 担当）	来客数の動き	・予想したほどには、来客数は落ち込んでいない。自動車製造業関連の好調の余波がまだ続いている。
		衣料品専門店 （売場担当）	販売量の動き	・消費者の堅実な買物姿勢は続いているが、売上は前年同月を何とか上回っている。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・白物家電は、単価が上昇しており好調である。ただし、テレビとパソコンの単価は逆に低下している。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・前半は寒い日もあって、季節物がそこそこ動いている。後半は暖かくなり、動きは例年とあまり変わらない。
		乗用車販売店 （従業員）	来客数の動き	・販売量は、良くはないが悪くもない。
		乗用車販売店 （従業員）	単価の動き	・決算期を迎えて、例年どおりにぎわっている。ただし、新車購入の際のオプション品は、必要最小限である。整備も同様であり、単価は昨年と比べても明らかに低下している。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・必要に迫られての台替需要は多少あるが、積極的に新車を購入しようという雰囲気はない。
		その他小売〔水 産物卸売〕（経 理担当）	販売量の動き	・前半が良ければ後半が悪いといった状況で、相変わらず低迷している。
		都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・宿泊部門の売上は、前年同月比で8%程度の減少である。宴会部門も、非常に苦戦している。レストラン客の出足も鈍い。
		旅行代理店（従 業員）	来客数の動き	・毎週末に雪が降るなど天候が悪かった影響で、来客数が減少している。旅行計画にも影響が出ており、3月の卒業旅行や4月の花見旅行などの動きも良くない。
		タクシー運転手	単価の動き	・寒い日が続いているため、早い時間帯のタクシー利用はあっても、深夜の利用客は少ない。また、中長距離客が少ない。
		テーマパーク （職員）	来客数の動き	・雪祭りの開催などイベントによる誘客を期待していたが、若干の伸びで終わっている。
		ゴルフ場（企画 担当）	来客数の動き	・毎週末の悪天候により、来場者数は大きく減っている。

	設計事務所（営業担当）	単価の動き	・他業者との価格競争が続いている。
	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・大型物件の建築確認が遅れており、分譲マンション、賃貸マンションの着工や完工が予定より遅れている。物件の確保が難しいため、相変わらず販売や入居仲介ができない。
やや悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・気温がここ数年と比べて低く、降雪日も多くて、来客数は極端に減少している。来客数が少ないため、自動販売機の売上も極端に悪い。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・取引先の高級飲食店の来客数は変わらないが、庶民的な店の来客数が減少しており、売上に影響が出ている。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・客単価はどんどん低下している。誕生日や御見舞などの花も、税込みで1,500円、2,000円が多くなっている。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・客は所得の状況に合わせて付き合いの範囲を狭くしており、贈答品の需要も減少している。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・週末に雪の日が多いため、観光客数が5%ほど減少している。また、土産物の1人当たりの購入量も減少しており、客単価は前年同月比で10%低下している。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数が減少している。来店客も、見ているだけでほとんど買物しない。以前は会社の昼休みの客が多かったが、今はフロア全体が閑散としており、売上は減少している。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・ここ数か月間は婦人服の動きが鈍かったが、今月に入り紳士服の動きも近年にないほど良くない。他方でバレンタインデーの食料品の売上は堅調であったが、婦人服、紳士服の売上減少は極めて大きく、店全体が不振に陥っている。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・気候による影響もあり、主力の婦人服の売上が低調である。客の財布のひもは固くなっている。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・来客数、客単価共に、悪化している。
	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・様々な催事で客を何度も勧誘したが、来客数は少ない。売上は前年同月の6～7割という状態である。
	百貨店（婦人服販売担当）	お客様の様子	・客に経済的な余裕がなく、例年ならば春物が動き始める時期であるが、今年はごく一部の上客以外には全く売れない。寒さや中国製品の不振もあるが、経済的な余裕がないことが一番の原因である。
	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・購買に非常に慎重な客層が、明らかに増えている。また、特典など少しでも得になりそうなことに、客は敏感に反応する。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・国産製品の値上げに伴い、消費者の購買意欲は冷え込んでいる。野菜、果物などを少しでも安く買おうと買い回るなど、客は必要最低限の商品でも慎重に購入している。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・大型店の開業に伴い、地域の商店の来客数は激減しており、壊滅的である。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店の出店により、以前ほどではないにしても、来客数の減少が続いている。一方で、客単価はあまり大きな変化がない。
スーパー（店長）	お客様の様子	・冷凍ギョウザの中毒事件や相次ぐ食品偽装などにより、消費者の不信感が高まっている。ほとんどの客が、商品表示をよく見て慎重な買物をしている。特に中国を始め外国製品を敬遠する傾向が強くなり、買上点数は減少している。	
スーパー（店員）	お客様の様子	・冷凍ギョウザの中毒事件の影響で、冷凍食品を始め中国製品が全く売れなくなっている。1人当たりの買上点数が激減していることに加えて、来客数も減少している。	
スーパー（営業担当）	単価の動き	・単価を下げる代わりに買上点数を増やす戦略を立てているが、来客数は前年並みである。そのため、単価の低下が際立っている。	
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・寒い日や雪の日が多いため、来客数はかなり減少している。	
コンビニ（店長）	単価の動き	・寒さのためか、単価、販売量共に悪化している。	

コンビニ（店長）	販売量の動き	・節分豆やバレンタイン商材など、季節商品の動きがかなり悪い。
コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・値上げ商品が増えている中、低単価商品を打ち出しているが、販売量は伸びない。低所得者を中心に、コンビニの利用自体が減ってきている。
衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・例年ならば2～4月は忙しい時期であるが、今年は販売量が減少している。
衣料品専門店（企画担当）	単価の動き	・このところ単価はやや上昇していたが、降雪などの天候要因もあって、今月は春物の正価商品が動かなくなっている。値下げした冬物商品は、数量的にはよく動いている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・天候の影響もあり、例年のような活発な動きが見られない。来客数は前月より減少している。
住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・建築確認申請の問題は改善されているが、新築件数はなお減少している。着工遅れも続いており、建築業界全体が低調である。ゼネコン、設計事務所共に、正常時の60～70%である。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・降雪日が多かったこともあり、来客数が減少している。
一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・冷凍ギョウザの中毒事件の余波で、当店では日本産手作りギョウザがよく売れている。しかし、前年の売上をカバーするにはほど遠い。客の経済的な余裕がなくなり、来店の途絶えている客が多い。
スナック（経営者）	来客数の動き	・例年2月は静かな時期であるが、今年は特に雪のちらつく日もあり、人通りは全体的に少ない。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	それ以外	・原油高に加えて、中国製品不信に伴う原材料価格の高騰により、販売価格を維持するのが厳しくなっている。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・地元企業の収益が良くないため、地元客は食事や宿泊などに金を使わなくなっている。その一方で、東京からの来客数は前年より数%増えており、落ち込みの一部をカバーしている。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・今月に入り、客足が完全に止まっている。特に個人客が全く伸びない。
都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・客は宿泊料金の比較をして、安いホテルに流れている。宿泊客の飲食も、単価は少し下がっている。
都市型ホテル（営業担当）	単価の動き	・石油関連製品や食材などの原価が高騰し、値上げを余儀なくされている。
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・寒い日が続き、客の出足は鈍くなっている。スキー客も減少している。
タクシー運転手	来客数の動き	・2月は1年で一番暇な時期であるが、昨年、一昨年と比べても人出が非常に少ない。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数が伸び悩む一方で、解約数は増加している。
テーマパーク（職員）	お客様の様子	・入園数が減少しており、周辺の商店が閉店している。
テーマパーク（総務担当）	来客数の動き	・客単価が低下している。
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数が減少している。
理美容室（経営者）	来客数の動き	・例年2月は暇な月であるが、例年以上に来客数は少ない。
美容室（経営者）	競争相手の様子	・例年2月は来客数が減るため、ダイレクトメールやチラシ、フリーペーパーへの広告掲載をするが、どの店も広告費以上の売上は得られていない。
美容室（経営者）	来客数の動き	・客の来店間隔が、徐々に長くなっている。
美容室（経営者）	お客様の様子	・客の来店間隔が長くなっている。今まで月に1回の客が、1か月半に1回になっている。
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・客は、手ごろな価格まで下がった物件を購入している。また、今後も価格が下がるのを待っているような様子もある。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・不動産物件への問い合わせ件数が、激減している。
住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・客は競合他社の見積と比較して、なかなか結論を出さない。

	悪く なっている	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・新作商品の発売やセール、割引、ポイントキャンペーン期間中の来客数は多いが、それ以外では減少している。特に平日の来客数の減少が顕著である。また、下見だけの来店も多くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・寒波のため来客数が減少している。春物の購入はますます少なくなっている。
		その他専門店【貴金属】（店長）	お客様の様子	・高額商品の売上が伸びないため、客単価は大幅に落ち込んでいる。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・降雪日が多かったことを差し引いても、平日、土日祝日を問わず、来客数の減少は大幅である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・1月も良くなかったが、今はますます客の足が遠のいている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・寒さのためか、徒歩や交通機関を利用して来店する客が減少している。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・例年2月の旅行は少ないが、夏場にかけての予約注文はある。しかし今年は、予約数も激減している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・雪の日が多く、客の動きは例年の2月よりも悪くなっている。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪いことに加えて、寒さのため来客数は更に減っている。
		設計事務所（職員）	単価の動き	・石油価格の高騰に伴い輸送費がかさむが、建材価格もかなり高騰している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの受注件数は、順調に増加している。
	変わらない	紙加工品【段ボール】製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の動向には、ほとんど変化がない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、ほぼ横ばいである。
		化学工業（総務担当）	取引先の様子	・半導体製造業向けの製品受注が活発である。一般製品の受注は、やや鈍化している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・出荷量は前年同期比でわずかに減少しているが、今期中の仕事量は確保出来ている。その一方で、コスト上昇が徐々に業績に影響を与えつつある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業種によって若干のばらつきはあるが、全体的には、この半年間ほど、ほぼ横ばいである。
		輸送業（経営者）	競争相手の様子	・軽油価格の高騰などコスト高が続く中、利幅確保のため、安値での新規受注を手控えている。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・原油や鉄を原材料とする企業では、コスト削減によって何とかしのいでいる状況である。
		広告代理店・新聞販売店【広告】	受注量や販売量の動き	・受注量、広告の出稿量共に、前年と変わらない。
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・顧問先に目立った動きはない。
		やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子
	金属製品製造業（従業員）		受注量や販売量の動き	・建築確認申請関係の混乱に伴い、荷動きは最悪である。原材料の再値上げも懸念される。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）		受注量や販売量の動き	・国内の自動車販売量が少ないということもあり、受注件数は減少してきている。
輸送業（従業員）	受注価格や販売価格の動き		・トラック燃料である軽油の価格が高騰しており、運賃への転嫁を進めている。客の一部は値上げを受け入れていないが、他業者の価格が低いと小幅の値上げに止まったり、中には値上げに応じず他業者に移る客もあるなど、単価はなかなか上昇しない。客の出荷状況も総じて良いとは言えず、運賃など原価に対する関心が以前より高まっている。	
金融業（従業員）	取引先の様子		・保険料などのコストを削減する動きが、かなり広がってきている。	
広告代理店（制作担当）	取引先の様子		・企業に対する提案はあまり受け入れられておらず、足踏み状態が続いている。	

		経営コンサルタント	競争相手の様子	・駅前富裕層向けも含めて、住宅は売れ残っている。地価も、これまでは上昇してきたが、高い値段では売れなくなっている。
		公認会計士	それ以外	・中小企業の業績は悪化傾向にある。中小企業に勤務する従業員の給与水準も、低下傾向にある。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・個人事業者は、売上、所得共に総じて良くない。ただし、不動産賃貸業者では黒字が増えている。
悪くなっている		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・昨秋以降、住宅着工件数が減少しているため、窯業界にも大きく影響している。かつてなかった程の減産を、余儀なくされている。
		鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・2月初めから、鋼材価格はどの品種でも30%ほど値上がりしている。販売単価は、段階的な値上げ又は、据置きであるため、収益に影響が出ている。
		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格の高騰により、収益を圧迫されている。また、建築確認申請の審査の遅れが、受注減少につながっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の業界不振により、受注量は更に減少している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建築確認申請の審査の大幅な遅れの影響で、受注競争は厳しさを極めている。それに加えて、建設資材の価格高騰により、請負業では適正利益を確保することが困難になっている。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・大動脈である東名阪を結ぶ路線のトラック積載荷物が、減少している。大型タンカーも減少していることに加えて、トン当たり単価も低下している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員のあっせんや紹介予定派遣の受注が増加している。
	変わらない	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・全体的には、客のニーズは相変わらず堅調である。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・依然として企業の採用意欲は高く、求人数も高水準で推移している。就職件数も、前年度と同水準を保っている。
		職業安定所（管理担当）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月よりも増加している。一部に弱い動きは見られるが、有効求人倍率は高い水準で堅調に推移している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・法人、個人共に、求人数が少ない。そのため、求職者に十分な仕事を紹介できていない。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・企業からの依頼動機を見ると、増員対応による依頼件数は減少している。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・中途採用の求人広告件数は、3か月連続で前年比95%ほどとなっている。特に正社員募集の減少が顕著である。高齢者の雇用環境も厳しい状態が続いている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・原油価格の高騰や株安により先行き不透明であるため、企業は採用数を抑えている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人数は若干増加しているものの、就職者数は減少している。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・ここ2か月間の求人数は、前年同月と比べてそれぞれ減少している。	
悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比で10%減少している。特に派遣業の減少が目立つ。	
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・原油価格の高騰に伴う燃料費の増加分を、運賃へ転嫁できていない。	
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・建築着工件数の減少に伴い、建築関連の求人は確実に減少している。これに関連して、警備員や清掃員などの求人も伸びていない。